

# 芽室町 橋梁長寿命化修繕計画

令和2年3月  
(令和4年9月一部改正)

芽室町 環境土木課

# 芽室町 橋梁長寿命化修繕計画

## § 1. 橋梁長寿命化修繕計画全体の方針

### 1. 背景と目的

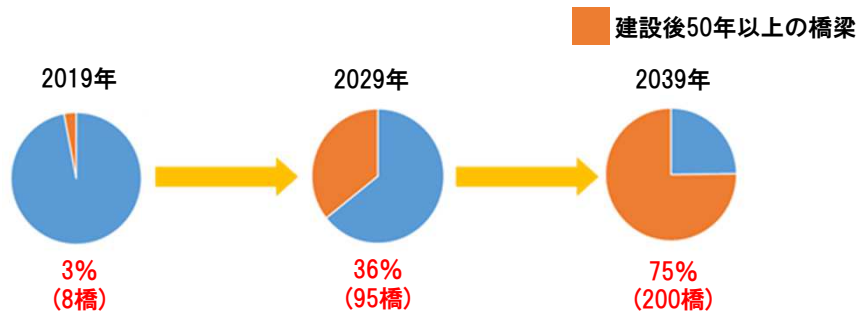
#### 【背景】

- ・芽室町が管理する道路橋は、2019年度現在266橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、8橋で全体の3%を占める。
- ・20年後には、この割合がおよそ75%を占め、急速に高齢化橋梁が増大する。
- ・今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

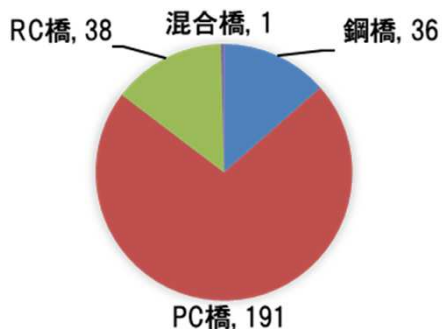
#### 【目的】

- ・定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。
- ・重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

#### 建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



#### 橋種別の橋梁数（2019年現在）



北伏古南7線橋(橋長78.18m)  
昭和39年供用開始(55歳)

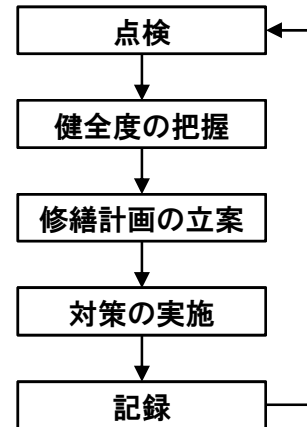
## 2. 対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁	75	36	155	266
うち計画の対象橋梁	75	36	155	266
うちこれまでの計画策定橋梁数	32	14	41	87
うちR1年度計画策定橋梁数	9	5	17	31

(芽室町 修繕計画橋梁位置図 PDF)

## 3. 基本的な方針

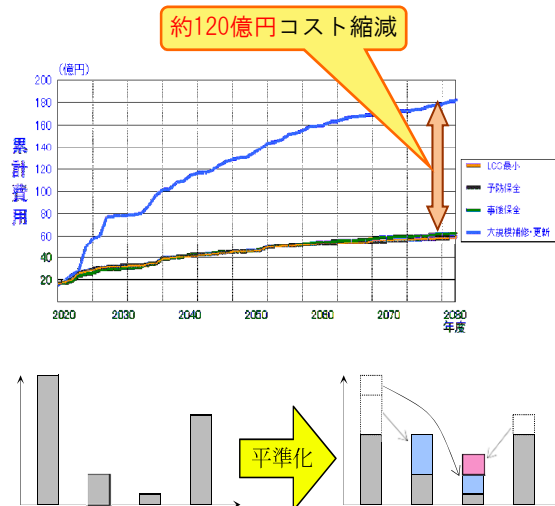
- ☆点検マニュアルに基づき、専門家による橋梁点検を実施し、橋の健全度を把握します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行なっていく予定です。
- ☆それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき最適な修繕計画(低コストかつ長寿命化を図れる計画)を立案します。
- ☆全対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。
- ☆点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書等に記入し電子データとして保存します。



橋の維持管理の流れ

## 4. 効果

- ☆今後60年の修繕・架替え事業費(予防保全型、大規模補修・更新型)を試算した結果、予防保全型の累計は、約60億円、大規模補修・更新型の累計は180億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約120億円のコスト縮減効果が期待できます。
- ☆維持補修費用を平準化させ年度間において格差を抑えることで、財政負担を軽減することができます。



## 5. 学識経験者

修繕計画の策定にあたり、橋梁のマネジメントの専門家として

北海道大学 名誉教授 大沼 博志 に助言を頂きました。

## § 2. 新技術等の活用方針

橋梁点検や修繕の実施に当たっては、従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に新技術を活用していくことで、従来技術からの技術の転換を図り、定期点検の効率化や高度化、修繕費用の省力化や費用縮減に努めます。

◆新技術情報システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)などを参考に、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。主な対応は以下の通りとします。

- ①定期点検の実施に当たっては、新技術情報システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)を活用し、橋梁状況・点検期間・コスト縮減の観点から最適な点検実施方法を選定します。
- ②修繕工事の実施に当たっては、新技術情報提供システム(NETIS)等の新材料・新工法の活用を検討します。

<新技術一例>



## § 3. 費用の縮減に関する具体的な方針

◆今後の老朽化対策に必要な費用の縮減

・定期点検および修繕工事においては、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログ(案)を活用し、工事の高度化・効率化・工期の短縮化により、コスト縮減を図ります。

◆撤去・機能縮小などによる費用の縮減

・社会情勢や路線の利用状況の変化により、町道路線の統廃合が可能となる場合は、当該橋梁の集約・撤去を進め、コスト縮減を図ります。

・今後の統廃合については、利用頻度を考慮し、地元住民等と調整しながら検討します。

## § 4. 短期的な数値目標およびそのコスト縮減効果

### 1. 集約化・撤去について

- ◆令和6年度までに管理する全266橋を対象に、現在の利用状況や点検結果及び代替路の有無を踏まえ、地元住民と調整し、1橋程度の集約化・撤去を検討し、将来的な維持管理コスト100万円程度削減することを目指す。

### 2. 新技術等の活用について

- ◆令和6年度までに管理する橋梁266橋の内、約1割の橋梁について、修繕及び点検に係る、新技術の活用を検討し、維持管理コスト50万円程度削減することを目指す。

## § 5. 個別橋梁事項

- ◆個別橋梁の諸元・点検結果・長寿命化対策内容・対策年度・概算事業費については別紙1【橋梁一覧表】及び、別紙2【橋梁位置図】の通りです。

## § 6. 修繕計画策定（更新・改定）担当部署



芽室町 環境土木課

TEL : 0155-62-9726 E-mail : k-kensetsu@memuro.net